



いいね！AWAMORI展 開催概要

平成30年12月
沖縄総合事務局
沖縄県酒造組合

沖縄総合事務局・沖縄県酒造組合は、琉球泡盛の需要拡大に向けた「琉球泡盛海外輸出プロジェクト」※の取り組みとして沖縄大交易会2018の開催（11月29日、30日）に併せて「いいね！AWAMORI展」を開催した。沖縄の全47酒造所の琉球泡盛を展示・試飲、製法・歴史の紹介や海外市場に向けたブランド戦略・海外向けに開発した泡盛新商品の展示、料理に合わせた泡盛の提案・試食等を実施した。

※琉球泡盛の海外展開を促進することを目的に、沖縄県酒造組合、経済・観光団体等官民の関係者が一体となった取り組み。平成30年度から実施し、平成34年までに100klの輸出を目指す。顧問：宮腰光寛（内閣府特命担当大臣（沖縄及び北方対策））、会長：小泉武夫（東京農業大学名誉教授）

実施内容

・琉球泡盛海外輸出プロジェクト紹介

官民による泡盛海外展開の取組のパネル展示や、国産長粒種米による泡盛づくりの取組のパネル展示、試飲。

・泡盛と食の組み合わせ提案～マリアージュ～

食事のシーンに合わせた泡盛との組み合わせの展示、試飲・試食。

・琉球泡盛製法・歴史紹介

パネル展示や47酒造所の泡盛を展示、試飲。

・欧米・中国における泡盛の海外展開

海外市場から見たブランド戦略・商品づくりをテーマにアイスランドや中国向けの取組についての海外向け商品の展示、パネル展示、映像による紹介。

・インバウンド向け取組紹介

酒蔵ツーリズム、クルーズ船内プロモーション等についてパネル展示及び映像で紹介。

泡盛と食の組み合わせ提案（沖縄総合事務局）

日本ソムリエ協会の協力により、泡盛をよりおいしく楽しめる食との組み合わせ25例を紹介。当日は、日本ソムリエ協会沖縄支部のソムリエが解説を交え、来場者へ5例の試食・試飲を提供。



欧米における琉球泡盛の海外輸出プロジェクト

（株）Blueship沖縄）

欧米市場に向けた取組。ローカルのバー等で展開し、ハードリカー分野での琉球泡盛のブランド構築を目指す。2017年度はアイスランドでカクテルコンペ等を実施、本格販売に向けた取組を紹介。



「沖縄白酒」中国輸出&インバウンド展開事業

（ビンコウHD(株)）

泡盛を中国市場および中華系インバウンド市場向けに展開。泡盛「日本酒」ではなく「白酒」（蒸留酒）として認知させるため、歴史的な琉球王国の御用達酒としてブランディング・PRの取組を紹介。



県産長粒種米泡盛の製造プロジェクト（株）Blueship沖縄）

琉球泡盛の価値を向上させるべく、沖縄県内にて長粒種米を栽培し泡盛を製造する取組。沖縄県内で栽培中のコメの収穫が11月のため、展示会では、国産長粒種米で仕込んだ泡盛を紹介、試飲を行った。



酒蔵ツーリズム・クルーズ船内プロモーション展開事業

（沖縄県酒造組合）

インバウンドを中心とした観光客を対象に琉球泡盛のPRする取組。各酒造所を紹介し地域回遊や体験を促す酒蔵ツーリズムや、香港等のクルーズ船内での泡盛試飲体験等のプロモーションの取組を紹介。



主 催：沖縄総合事務局、沖縄県酒造組合

共 催：（株）Blueship沖縄、（株）ビンコウHD

日 時：平成30年11月29日（木）・30日（金）10:00～17:00

場 所：沖縄コンベンションセンター会議棟A 会議場A3

来場者数： 約960名（2日間）

【来場者数】約960名（2日間）

11月29日(木) 約600名 30日(金) 約360名

【来場者感想】

- ①強い泡盛は飲めないと思っていたが、食事と組み合わせたことでこんなにおいしくなると思わなかった。（バイヤー）
- ②泡盛と食の組み合わせ提案は面白い試み。取引のあるカンボジアで同じような展示会を企画したい。（バイヤー）
- ③泡盛をカクテルベースとして提案する取組は面白い。日本酒とは異なるアプローチ。（サプライヤー）
- ④沖縄白酒はおいしい。どこで買えるのか。（バイヤー）
- ⑤長粒種米で作った泡盛の香り・味わいがすごく良い。（泡盛メーカー等）



大交易会初日に行われた歓迎レセプションでも「いいね！AWAMORI展」PR。47酒造所の泡盛、国産長粒種米泡盛の試飲を実施。



泡盛の「もろみ」を用いたスポーツドリンクの展示・試飲



泡盛と食の組み合わせ～マリアーヂュ～提案当日提供した試食・試飲5例



酒造組合から「チョコとあわもりの香り立つ饗宴」としてチョコレートと泡盛のマリアーヂュを提案